

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報											整理番号	025			
事務事業名	交通対策経費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業
担当部	市長公室	担当課	市民と共に考える課		担当係	行政経営係						2	1	6	3
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称: )				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: )									

2 事務事業の概要														
☞ 予算事業全体について記入して下さい。														
対象	すべての市民				内容・手段	民間の交通事業者と行政が連携し、地域公共交通の充実を図る。 【主な取り組み】①タクシー事業者と連携し、予約型乗合交通ふれあい号の利便性向上を図る。 ②常総線沿線自治体の連携による常総線活性化や、安全運行のための整備支援を進める。 ③路線バス運行維持のため、鉄道との連携により乗り継ぎなどの利便性向上と利用促進を図る。								
目的	生活しやすく、誰もが外出しやすいまちを形成する。													

3 事務事業の主たる成果指標														
☞ 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	予約型乗合交通の一日の平均利用人数		単位	人	目標値	96	目標年次	令和3	年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	ふれあい号は、1日あたり6台態勢で、8時間運行している。1時間16人利用*6台=96人よって、16人/8時間→乗合人数2.0人を目指す。※運行開始時からの平均乗合率は1.9人			

4 事務事業の実績 ①															
平成29年度					2年間の主な事業内容(実績)										
決算額	内訳	特定財源	0		円	前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)				
		一般財源	38,305,508		円	1ふれあい号に関すること ・常総市公共交通活性化協議会の開催2回 ・ふれあい号の運行240日 ・利用者アンケート ・公共交通パンフレット作成・全戸配布 ・筑波大学との共同研究 2県公共交通活性化協議会に関すること ・会議出席1回 3鉄道事業者に関すること ・関東鉄道常総線への赤字補てん及びイベント協賛 ・関東鉄道常総線を活用した沿線地域のPR事業 ・地下鉄8号線誘致促進会への負担金支出及び会議参加 ・東北新幹線新駅設置検討会への出席 4茨城空港に関すること ・利用促進協議会への負担金支出					1ふれあい号に関すること ・常総市公共交通活性化協議会の開催2回 ・ふれあい号の運行236日 ・10月～全車セダン車に変更(利用者アンケート結果反映) 2県公共交通活性化協議会に関すること ・会議出席1回 3鉄道事業者に関すること ・関東鉄道常総線への赤字補てん及びイベント協賛 ・関東鉄道常総線を活用した沿線地域のPR事業 ・地下鉄8号線誘致促進会への負担金支出及び会議参加 4茨城空港に関すること ・利用促進協議会への負担金支出 【新規】 5地域公共交通網形成計画の策定開始 ・11月補正予算にて継続費設定 (年度割:令和元年2,000千円,令和2年度5,000千円)				
目標に対する実績値		82		人	(住民一人あたりの行政コスト)					634					円
平成30年度															
決算額	内訳	特定財源	0		円										
		一般財源	38,547,477		円										
目標に対する実績値		87		人	(住民一人あたりの行政コスト)					643					円
令和元年度															
決算額	内訳	特定財源	0		円										
		一般財源	33,097,411		円										
目標に対する実績値		87		人	(住民一人あたりの行政コスト)					556					円

5 担当課評価 ②														
☞ 実施したことによる成果や課題を記入してください。														
成果	目標未達成													
成果内容分析	利用者アンケートの結果を踏まえ、令和元年10月より、ふれあい号の車両をワゴンからセダンに変更したが、目標は達成出来なかった。ふれあい号の運行から10年経過したことや人口減少・少子高齢化が進んだことで、公共交通のあり方の再検討が急務である。今後必要とされる地域の足づくりとは何かということ、利用者や交通の担い手と協力し、持続可能な公共交通体系整備を目指していきたい。													
課題	民間公共交通の運行維持・確保を支援しているが、路線バスの減便・廃止やタクシー事業者の廃業等により、公共交通を取り巻く環境は年々厳しくなっている。民間の交通事業者だけでは補えない部分を行政がカバーする必要があるが、財政負担を伴うため、総合的なまちづくりの方向性と一体で考えなくてはならない。地域公共交通網形成計画の策定にあたっては、都市計画課で策定中の立地適正化計画(居住区域及び都市機能の立地を集約したまちづくりのための計画)と連携しながら進めていく。													

6 担当部長評価 ③														
☞ 担当課長で協議のうえ、評価してください。														
事務事業の方向性														
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止														
評価理由	超高齢化社会に加え人口減少社会の到来が余儀なくされる中、地域住民の移動手段についてはどこの地方都市でも大きな課題になっている。当市では平成21年10月から予約型乗合交通ふれあい号を運行させてきたが、およそ10年が経過しこの間に地域の状況も大きく様変わりしてきたと考える。このため、今後の市の公共交通体系と施策展開を図るにあたり、その基本計画となる地域公共交通網形成計画の策定に期待したい。													

7 実施計画 ④																		
☞ 今後3年間について、何を・どの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																		
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度							
事業内容	1予約型乗合交通ふれあい号に関すること ●「常総市公共交通活性化協議会」へ負担金支出 ※市が事務局を務めている。主な業務は以下のとおり。 ①会議開催②国庫補助金の申請③協議会の会計など ●運行業務内容 ※予約センターの運営は社会福祉協議会市が行う部分→予約システムの借上料の支払い、利用登録・利用券販売等、予約センターオペレーターとの意見交換 2地域公共交通網形成計画の策定(R1補正対応) 継続費設定(R1:2,000千円, R2:5,000千円) 3県公共交通活性化協議会に関すること ●負担金支出及び会議・研修会出席 4鉄道事業者に関すること ●関東鉄道常総線への赤字補てん及びイベント協賛 ●関東鉄道常総線を活用した沿線地域のPR事業 ●地下鉄8号線誘致促進会への負担金支出及び会議参加 ●東北新幹線新駅設置検討会への出席 5茨城空港に関すること ●利用促進協議会への負担金支出					1予約型乗合交通ふれあい号に関すること ●「常総市公共交通活性化協議会」へ負担金支出 ※市が事務局を務めている。主な業務は以下のとおり。 ①会議開催②国庫補助金の申請③協議会の会計など ●運行業務内容 ※予約センターの運営は社会福祉協議会市が行う部分→予約システムの借上料の支払い、利用登録・利用券販売等、予約センターオペレーターとの意見交換 2地域公共交通網形成計画に沿った事業実施 ※現時点では事業費算出不可 3県公共交通活性化協議会に関すること ●負担金支出及び会議・研修会出席 4鉄道事業者に関すること ●関東鉄道常総線への赤字補てん及びイベント協賛 ●関東鉄道常総線を活用した沿線地域のPR事業 ●地下鉄8号線誘致促進会への負担金支出及び会議参加 ●東北新幹線新駅設置検討会への出席 5茨城空港に関すること ●利用促進協議会への負担金支出					1予約型乗合交通ふれあい号に関すること ●「常総市公共交通活性化協議会」へ負担金支出 ※市が事務局を務めている。主な業務は以下のとおり。 ①会議開催②国庫補助金の申請③協議会の会計など ●運行業務内容 ※予約センターの運営は社会福祉協議会市が行う部分→予約システムの借上料の支払い、利用登録・利用券販売等、予約センターオペレーターとの意見交換 2地域公共交通網形成計画に沿った事業実施 ※現時点では事業費算出不可 3県公共交通活性化協議会に関すること ●負担金支出及び会議・研修会出席 4鉄道事業者に関すること ●関東鉄道常総線への赤字補てん及びイベント協賛 ●関東鉄道常総線を活用した沿線地域のPR事業 ●地下鉄8号線誘致促進会への負担金支出及び会議参加 ●東北新幹線新駅設置検討会への出席 5茨城空港に関すること ●利用促進協議会への負担金支出							
	成果指標	指標名	予約型乗合交通の一日の平均利用人数	単位	人	目標値	96	指標名	予約型乗合交通の一日の平均利用人数	単位	人	目標値	96	指標名	予約型乗合交通の一日の平均利用	単位	人	目標値
予算額	歳出	計			47,173	千円	計			42,000	千円	計			42,000	千円		
		特定財源			0	千円	特定財源			0	千円	特定財源			0	千円		
	歳入	一般財源			47,173	千円	一般財源			42,000	千円	一般財源			42,000	千円		
		計			47,173	千円	計			42,000	千円	計			42,000	千円		

8 行政改革懇談会(市民)の意見														
担当部長評価のとおりでよい。														
買い物難民、外出難民をなくすためにはある程度の財政負担は必要と考える。地域住民の移動手段は大きな課題であるため、近隣自治体とも協議した上で交通網計画を策定すべきである。まだまだ研究と精進の余地があるため、効率的に進行されたい。														
9 最終評価(行政改革推進本部) ⑤														
事務事業の方向性														
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止														
評価理由	地域公共交通網形成計画の策定が重要であるとともに、市民のニーズに応えられるよう地域公共交通全般のあり方を再検討されたい。特に自治体間の連携は必要不可欠となっていることも含め、近隣自治体との協議も率先して行っていただきたい。													

10 事務事業の改善点と理由 ⑥														
☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。														
事業内容														